

地域共創隊WITH 活動狀況報告

名城大学工学部数学科 入江一樹

今回話すこと

1. 地域共創隊WITHとは

昨年度結成した「地域共創隊WITH」がどんな団体なのかを紹介します。

2. 昨年度のWITH

WITH1年目の活動を紹介し、一メンバーとして感じたことを話します。

3. 今年度のWITH

昨年度の活動を踏まえ、今年度はどんな活動をするのかお話しします。

地域共創隊WITHとは

WITHがどんな団体なのかを紹介します。

友だちに 自慢したくなる サークルです。

01 きっかけは、岡崎市のボランティア

岡崎市の中山間地域の関係人口を創出する取り組みの学生ボランティア団体として、団体が誕生しました。

02 住民や自治体職員と協力して地域活性に取り組む

地域の方と“一緒に”活性化に取り組みたいという思いで、地域共創隊WITHという団体名になりました。

03 地域に対する熱意のある学生と学べる

元々関心のあった人もいれば、WITHに入ってから火が付いた人も地域おこしに対する考えや思いを深め合う活動をしております。

←今年度実施した新メンバー募集の勉強会参加者



昨年度のWITH

WITH1年目の活動を紹介し、一活動メンバーとして感想を話します。

岡崎市中山間地域（愛称：オクオカ）の関係人口創出のため、
イベントのお手伝いなどのボランティアに参加しました。

1年を通して稲作体験に挑戦できるイベントのスタッフ
（田植えやカカシ作り、稲刈り体験など）



地域の子どもが作った
登山者向けの看板の設置

オクオカわんぱく祭り 学生ブース出展

自然公園（わんパーク）で、オクオカの農林に触れられるお祭りの学生ブースを企画しました。





住民や自治体職員、地域おこし協力隊などの熱意や人柄に惹かれ、
「またボランティアに参加しよう」と思うようになりました。



学びや出会いは あったけど...

ボランティアの募集や企画の依頼があれば積極的に参加したが、定期的にあるわけではない。

それ以外にWITHで集まって活動することはほぼゼロ...

活動的なメンバーは徐々に減り、このままじゃ自然消滅するのもかも...



WITHを
活性化したい...

そうだ、
代表になろう。

入江は代表になりました。

今年度のWITH

団体の活性化を実現させるため、どんな活動をしていくのか発表します。

週1回メンバーと学び合える 定例会を企画・実施。

今年度前半は「関係人口」をキーワードに、
理解や考えをメンバーと深め合う取り組みを毎週しております。





これまで通り、
ボランティアも参加。
学びを活かす場に。

岡崎市のボランティアのみならず、
イベントの出展などにも挑戦します。
定例会の学びや考えを「伝える、活かす」
ことのできる活動として取り組みます。

昨年度よりも活発で魅力的な団体になりつつあります。
地域にとって、メンバーにとって
価値のある団体であり続けられるよう、代表がんばります。

ご清聴ありがとうございました。